

大川原とは…大川原は福島県大熊町にある地区です。町は、2011年3月の東日本大震災に伴う原発事故により全町避難を余儀なくされましたが、2019年4月にこの大川原地区と中屋敷地区の避難指示が解除されました。さらに2022年6月には下野上地区など町内の一部で避難指示が解除され、住民が日々の暮らしを再開しています。

発行：大熊町大川原LIFE編集部 問合せ先：mirai@town.okuma.fukushima.jp

ざる菊の季節

右吉ワールド
を再訪



↓ 手製のオブジェも増えてます!! ↓

↙ れいわちねんの花文字

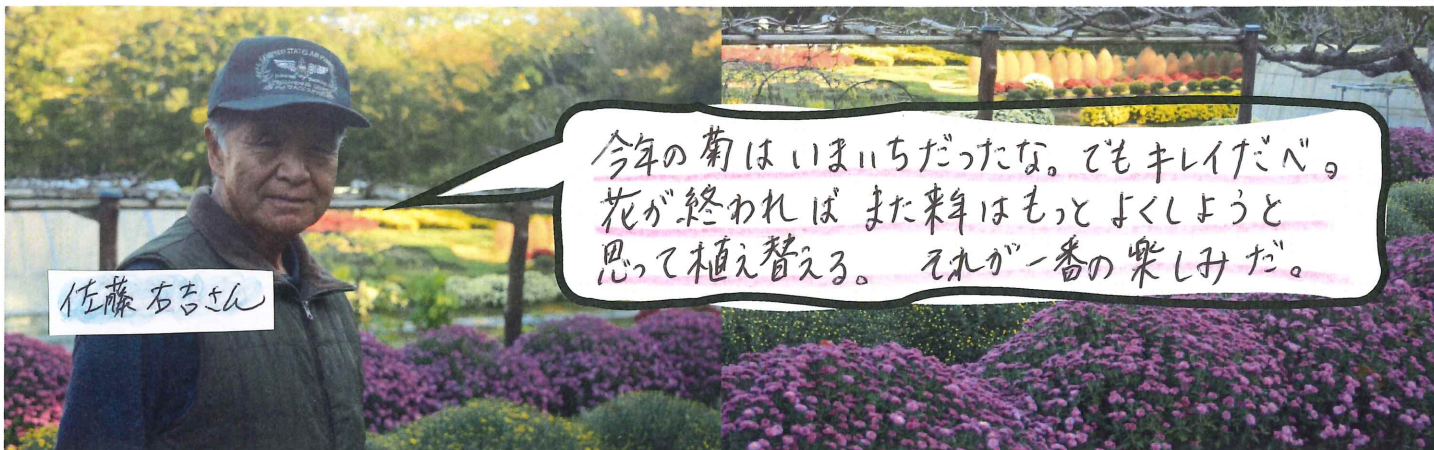
初夏にはホタル舞う水路 →

→ 菱桜のクマ →

愛犬ウキは 昨夏をくなり
さみしくなりました。。

こんにちは! これを書いている11月上旬、今年もざる菊が大熊を彩りました。ざる菊といえば、大川原の佐藤右吉さんのお庭。大川原LIFE4号で紹介したお庭を再び訪問しました。

令和元年、帰町の年は「かえりましたよ」とざる菊で庭に描いた右吉さん。今は年号に合わせて毎年植えかえています。ちなみに年号の下のクマは菱桜で表現。春に見頃をむかえます。広いお庭一面に配置されたざる菊には、水やりにも2時間かかります。今夏の暑さは人(右吉さん)にも菊にも厳しくて、毎日夕方に水やりしても元気をなくした株がでてしまったそうです。とはいえ、見頃を迎えた庭は見事!! 「来年はこの黄色を増やしたいな…」右吉さんの頭はずでに来年の構想に移っていました😊



佐藤 右吉さん

今年の菊はいまいちだったな。でもキレイだね。花が終わればまた来年はもっとよくしようと
思って植え替える。それが一番の楽しみだ。

大川原の古民家で ガーデンバル



/ 渡部家の門扉! ステキな雰囲気! \

10月28、29日の2日間、登録有形文化財である渡部家住宅でガーデンバルが開催されましたよ! 無数のライトで照らされた古民家を眺めながらカレーやカクテルなどを味わいました



佐藤

渡部家は2021年に文化財に登録された屋敷で、一番古い主屋は江戸時代に建てられたんだとか! 当時の生活様式を伝える貴重な資料です!



外で食べるカレーっておいしいですよ
体があたたまります♡



THE MAKE
何度でも飲みたいくなるカクテル!



/ 雨にもかかわらずたくさんの方が訪れていました \

私が参加した29日はあいにくの雨模様! テントの中でしとしと聞こえる雨音をBGMに、みなさん会話を楽しんでいました! 普段はどこか厳かな雰囲気のある渡部家ですが、ライトアップされた屋敷はとってもオシャレで温かみを感じました! いろんな表情を見せてくれる渡部家! 次はどんなイベントが開催されるかなー

Bonjour!! フランスからいらっしゃいませ♡

大川原LIFE 48号で紹介したフランスから移住し、大熊で農業に取り組むエミリー・ブルさんのご両親が大熊に遊びに来ているところに遭遇しました!

日本は3回目だけど、大熊は初めて訪れたというご両親。「ほっと大熊」に泊まり、デイリーヤマザキで夕食を物色中でした。

「大熊は穏やかでいい田舎町だね」とお母さん。娘の移住は「ちょっと心配だったけど不安はもうないよ。安心した」とお父さん。大熊を気に入っていただけたようで良かったです!!



日本語で「ごあいさつしてくださいました」